

プロフィールアプリを作ろう！



Copyright 2019 FUJITSU CLOUD TECHNOLOGIES LIMITED
Created by natsumo ikeda

はじめに

教えてくれる人

池田 夏藻 (イケダ ナツモ)

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社
ニフクラ mobile backend 企画チームに所属



ニフクラ mobile backend オリジナルキャラクター
タカノくん

何ができるの？

プロフィールアプリを作りましょう

出来上がったら作ったアプリを使って
みんなで自己紹介（じこしょうかい）
をしましょう👍

メッセージ機能をつけて
お友達のアプリにコメントしましょう💬



これからやること

1. プロフィールアプリの下書き
2. アプリ作成ツール「Monaca」の準備
3. Monacaの使い方練習
4. プロフィールアプリを作る①（パーツの書き方）
5. プロフィールアプリを作る②（アレンジの仕方）
6. TRY：コメント入力機能をつけよう
 1. 機能追加に欠かせない道具 ニフクラ mobile backend とは
 2. ニフクラ mobile backend の準備
 3. コピペで機能追加

1. プロフィールアプリの下書き

ワークシートに作成する内容をプロフィールアプリの下書きしましょう。



こんな感じで書けていればOK！下書きの内容をアプリにしていきましょう。



2. アプリ作成ツール「Monaca」の準備

「**Monaca**」という開発ツールを使ってアプリを作ります。Monacaは子ども向けの開発ツールではありません！プロのエンジニアも使っているツールです。プログラミングには開発言語というコンピューター専用の言葉を使います。MonacaではHTML/JavaScript/CSSという比較的子どもでも取り組みやすい開発言語を使っています。今回は主に **HTML** の書き方を学びましょう 😊



Monaca を使うために必要なもの

パソコンに用意されているもの

- Google Chrome (ブラウザ)
 - <https://www.google.com/chrome/>

持ってきてもらったもの

- Gmail (メールアドレス)
 - <https://accounts.google.com/signup>

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Google Chrome をダブルクリックしてブラウザを開きます。



次のURLを入力してEnterキーを押します。

<https://monaca.mobi/ja/signup>



Monacaのアカウント作成ページが開きます。

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Gmailのメールアドレスとパスワード
(Gmailと同じでも違ってもどちらでもOK) を入力して「アカウント新規作成」をクリックします。

アカウント作成

アカウント作成

メールアドレス **【必須】** *Gmail を入力する*

パスワード **【必須】**
半角英字と数字を組み合わせた7文字以上 *パスワードを決めて
アカウント作成ボタンをクリックすると、利用規約に同意したとみなされます。
入力する*

アカウント新規作成

or

GitHubアカウントで作成

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Gmailにメールがとどきます。
とどいたメールを確認しましょう。



確認メールを送信しました

確認メールを [REDACTED] に送信しました。
送信された確認メール内に記載されたURLにアクセスし、登録の完了をお願いいたします。

再送する場合は、以下のボタンをクリックしてください。

[確認メールを再送する](#)

メールアドレスの入力を間違えた場合は、ログアウト後に正しいメールアドレスでご登録ください。

[ログアウト](#)

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Google Chrome で別のタブを開きます。



次のURLを入力して Gmail を開きます。

<https://mail.google.com/>

Gmailを入力して、「次へ」をクリックします。

A screenshot of the Google Account sign-in page for Gmail. At the top, it says "Google" and "ログイン". Below that, it says "お客様の Google アカウントを使用" and "Gmailを入力". There is a large input field labeled "メールアドレスまたは電話番号" with a red arrow pointing to its right edge. Below the input field, it says "メールアドレスを忘れた場合". At the bottom, there is a note: "ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。 詳細". On the left, there is a blue link "アカウントを作成". On the right, there is a large blue button with the text "次へ".

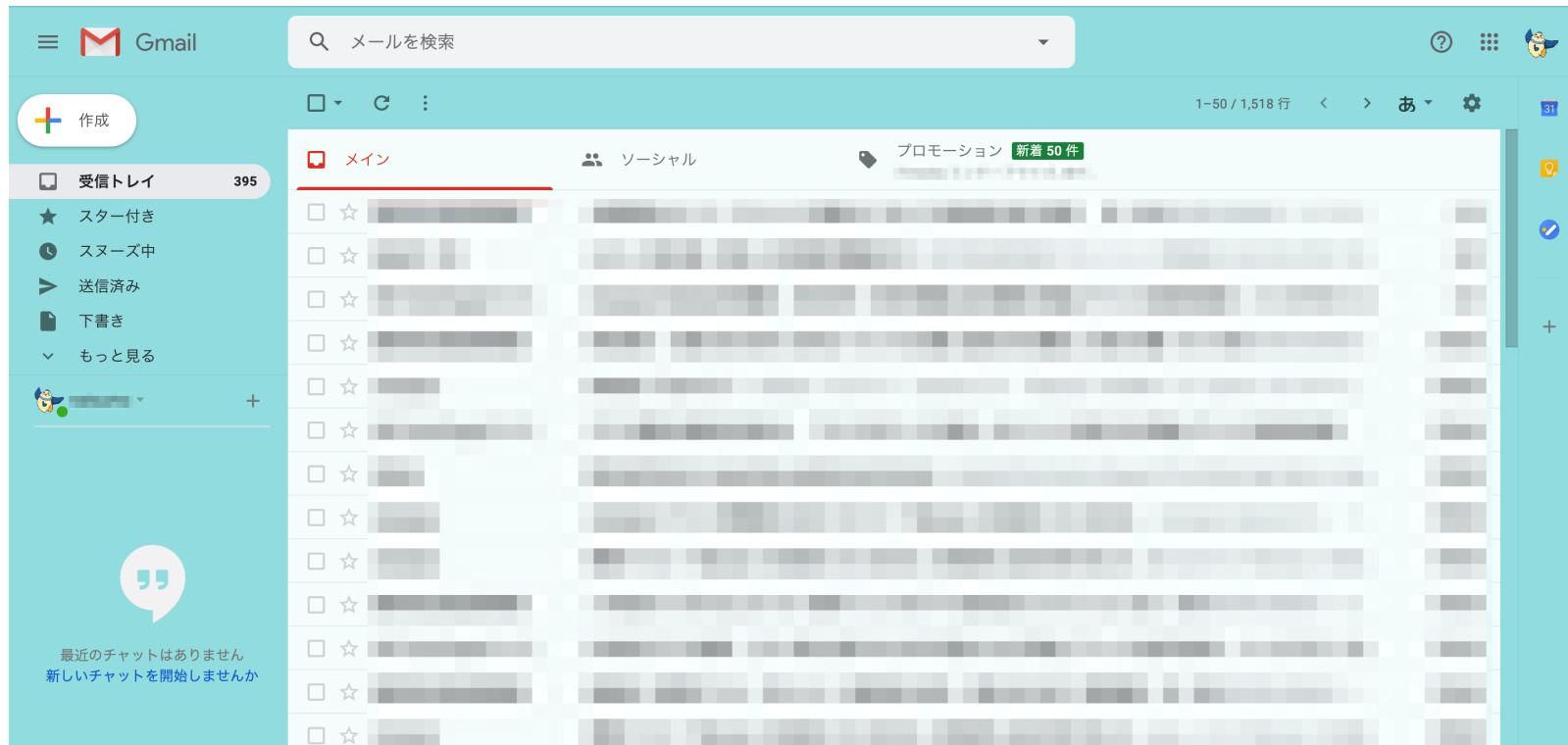
アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Gmailのパスワードを入力して、「次へ」をクリックします。



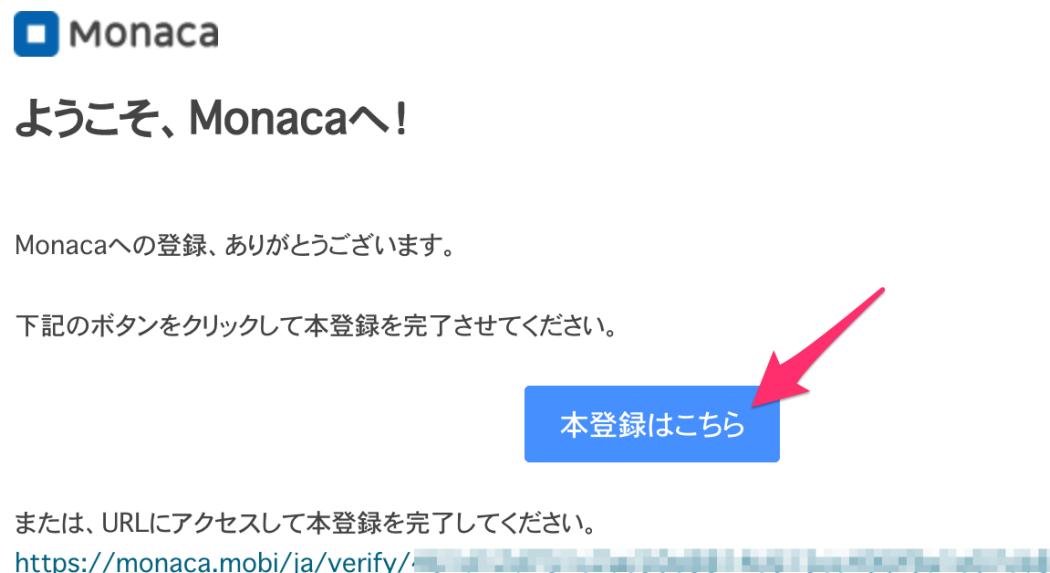
アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Gmailにログインできました。Monacaからのメールを確認しましょう。



アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Monacaからのメールを開いて「本登録はこちら」をクリックします。



Copyright © Asial Corporation. All rights reserved.

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

別のタブが開いて、Monacaの「無料トライアルを開始」という画面が表示されます。
「利用プラン選択」をクリックします。



無料トライアルを開始

14日の無償トライアルを開始します。トライアル中はいくつかの制限があります。
[アクティベーションコードをお持ちですか？](#)

利用プラン選択 プランはいつでも変更できます。 [プランを比較する](#)

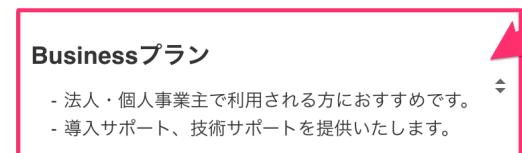
Businessプラン

- 法人・個人事業主で利用される方におすすめです。
- 導入サポート、技術サポートを提供いたします。

個人情報 お名前 【必須】

会社名 【必須】

電話番号



アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

「Freeプラン」をクリックします。

Proプラン

- 個人で利用される方を対象にしています。
- 最新2世代のビルト環境のみ利用いただけます。
- 請求書支払いには対応していません。

Businessプラン

- 法人・個人事業主で利用される方におすすめです。
- 導入サポート、技術サポートを提供いたします。

Enterpriseプラン

- より安全・セキュアなアプリ開発に対応します。
- 請求書支払いをご利用いただけます。
- 最低5名分のライセンス購入が必要となります。

Freeプラン

- 個人で利用される方を対象にしています。
- 最新2世代のビルト環境のみ利用いただけます。
- ビルトに制限があります。(24時間以内に3回まで)

アクティベーションコードを使う

- コードをお持ちの方はこちらを選択してください。
- すぐにアップグレードが行われます。



アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

「お名前」のみ入力して「無料トライアル開始」をクリックします。



無料トライアルを開始

14日の無償トライアルを開始します。トライアル中はいくつかの制限があります。

[アクティベーションコードをお持ちですか？](#)

利用プラン選択 プランはいつでも変更できます。 [プランを比較する](#)

Freeプラン

- 個人で利用される方を対象にしています。
- 最新2世代のビルド環境のみ利用いただけます。
- ビルドに制限があります。(24時間以内に3回まで) **名前を入力する**

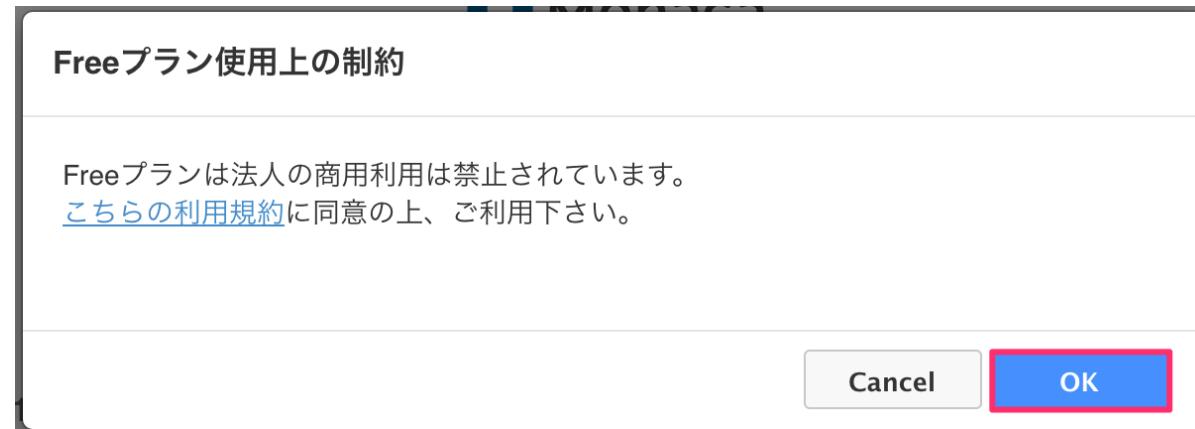
個人情報 お名前 **[必須]**

電話番号

無料トライアル開始

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

「OK」をクリックします。



アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

Monacaアカウントの作成は完了です🎉

「ダッシュボードに進む」をクリックしま
しょう。



トライアルを開始しました！

さっそくMonacaではじめてのアプリを作ってみましょう。
ダッシュボードに進むと、ツアーが始まります。

プラン名

Freeプラン

トライアル期間

20■■年■■月■■日 ~ 20■■年■■月■■日 (14日間)

開発者

■■■ ■■■ ■■■

ダッシュボードに進む

アプリ作成ツール「Monaca」のアカウントを作る

ダッシュボードが表示されました。

The screenshot shows the Monaca Dashboard interface. At the top, there's a navigation bar with links for 'Monaca Dashboard', 'Monacaを学ぶ', 'お問い合わせ', a notification bell icon, and a profile icon. Below the navigation bar, there are two buttons: '新しいプロジェクトを作る' (Create New Project) in green and 'インポート' (Import) in grey. Underneath these buttons is a search bar with dropdown menus for 'タグ', 'オンライン', and '作成日順'. A large preview area shows a small icon of a smartphone and the text 'はじめてのMonacaアプリ' (First Monaca App), 'No project description.', and a 'NEW' badge. To the right of this preview area, there's a large empty space with a placeholder square icon. Below the preview area, there's a section titled 'Posts from モナカ7°レス' (Posts from Monaca7°Les). It lists three recent posts: 'Cordova Hook スクリプト入門' (Introduction to Cordova Hook Script), 'Cordova 9.0 のサポートを開始' (Support for Cordova 9.0 begins), and '札幌初の共同開催！Monaca UG SAPPORO #3レポート' (Report on the first joint meeting in Sapporo! Monaca UG SAPPORO #3).

(参考) お家でMonacaを使うときは、<https://ja.monaca.io/> からログインして使いましょう👉

プロジェクトを作る

「新しいプロジェクトを作る」をクリックします。



プロジェクトを作る

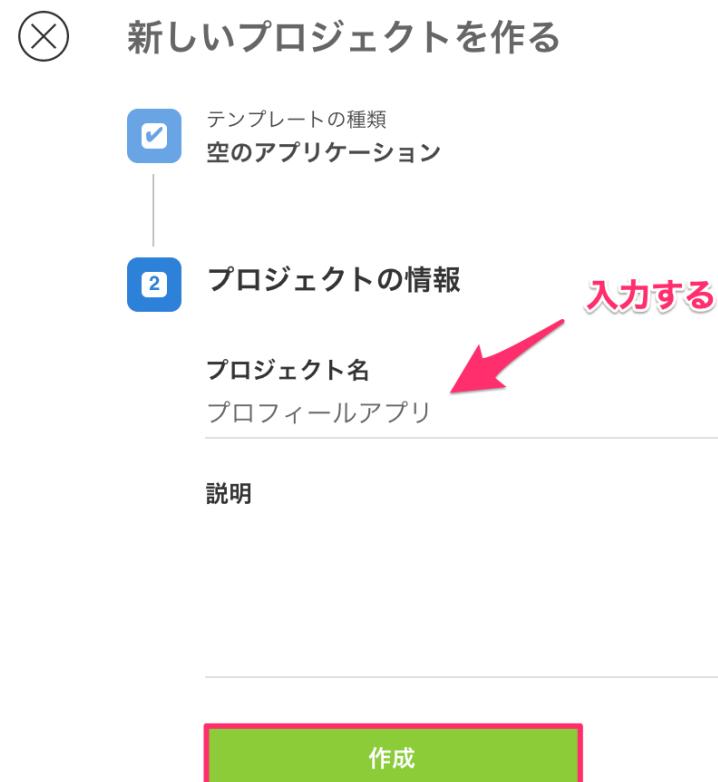
「最小限のテンプレート」をクリックします。

⊗ 新しいプロジェクトを作る



プロジェクトを作る

プロジェクト名に「プロフィールアプリ」と入力して「作成」をクリックします。



プロジェクトを作る

プロジェクトが作成されました。作成されたプロジェクトを開きましょう。作成されたプロジェクト「プロフィールアプリ」をクリックします。



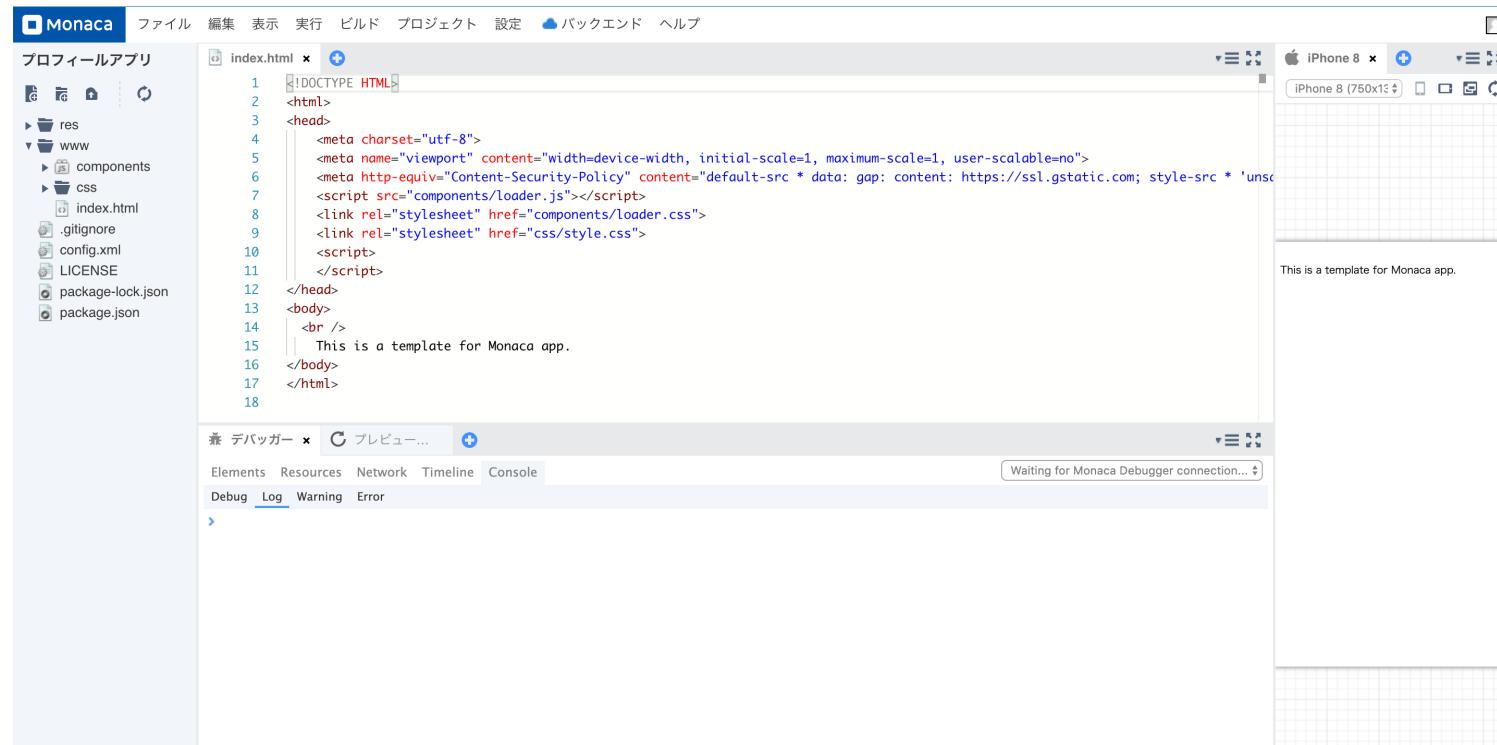
プロジェクトを作る

右側に画面が開きます。「クラウドIDEで開く」をクリックします。

The screenshot shows the Monaca Dashboard interface. On the left, there's a list of projects: 'プロフィールアプリ' (Profile App) which is new, and two other projects whose details are blurred. On the right, the 'Profile App' project is selected, showing its details. Below the project name, it says 'プロジェクトの概要がありません' (No project description). Under the '開発' tab, there's a blue button labeled 'クラウドIDEで開く' (Open in Cloud IDE). A red arrow points to this button, indicating the next step. Other tabs include 'ビルド' (Build), 'デプロイ' (Deploy), and '設定' (Settings).

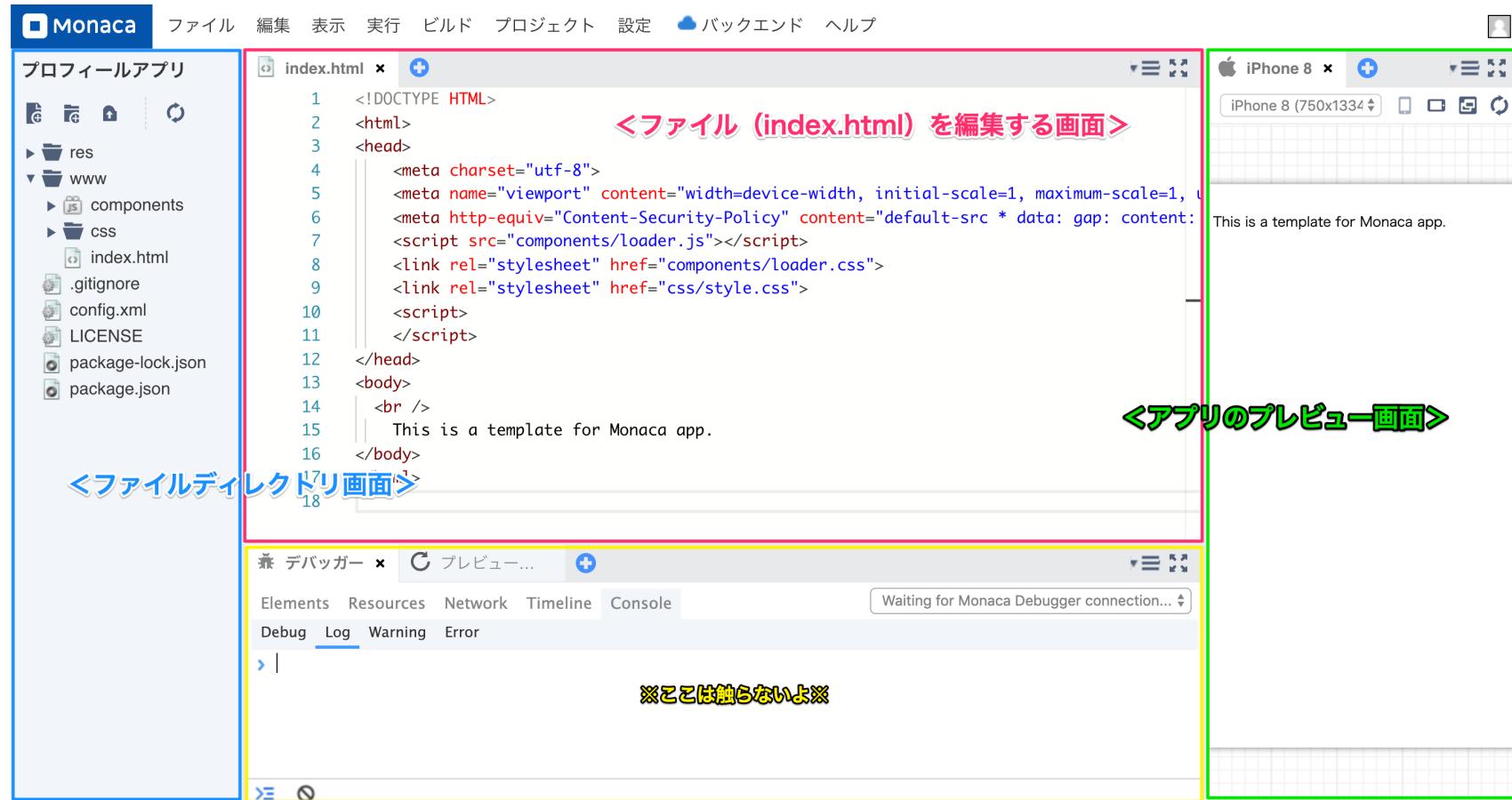
プロジェクトを作る

プロジェクトが開かれました。この画面を触って、アプリを作っていきます💪

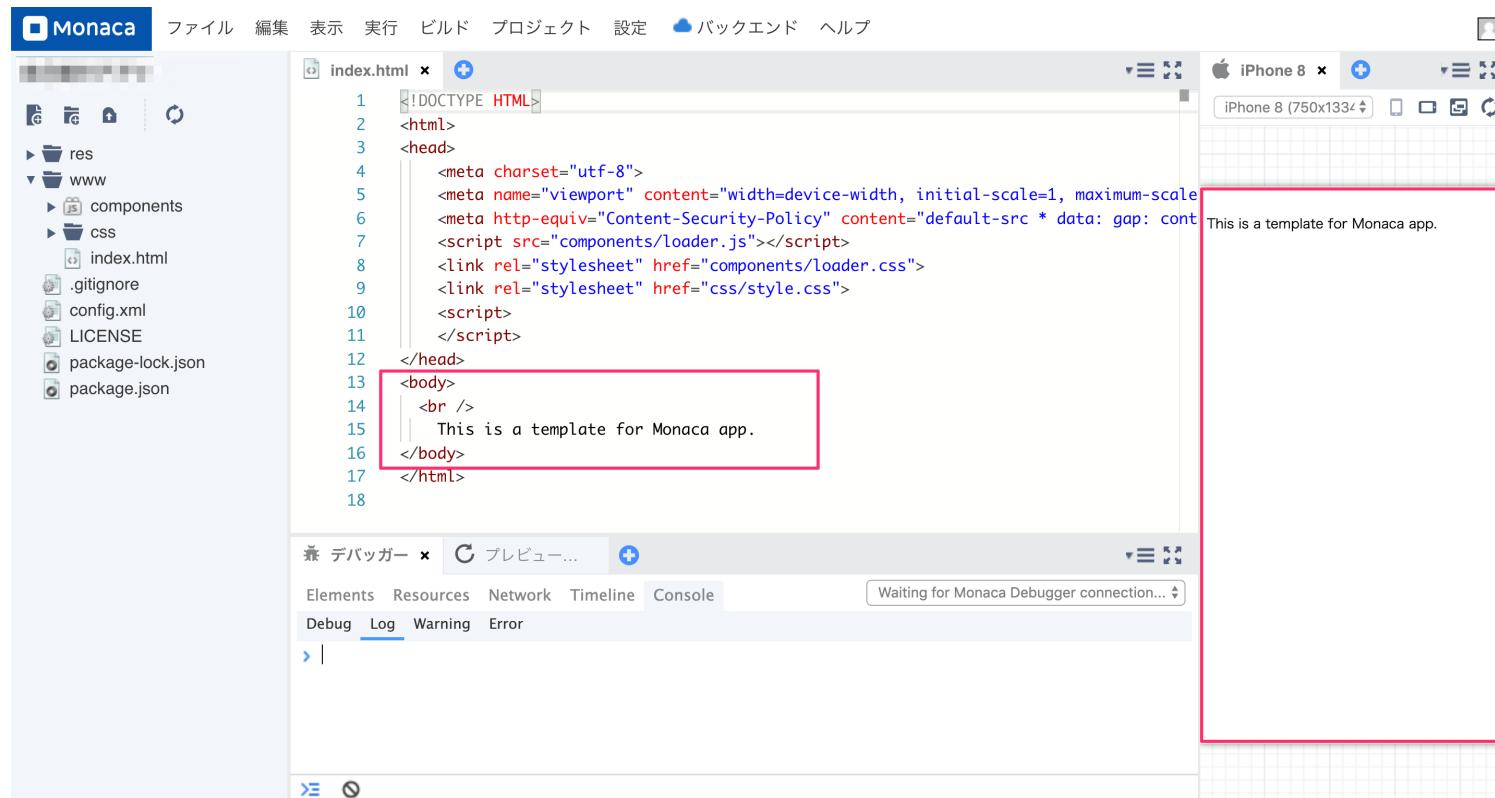


3. Monacaの使い方練習

Monacaの開発画面は次のようになっています。



それでは使い方の練習をしていきましょう。最初から開かれている index.html ファイルをみてください。<body>と</body>の間に書かれた文字がプレビュー画面にも出ていますね。



`<body>`,`</body>` は「bodyタグ」と言います。

bodyタグの間に記述した内容がアプリの画面に表示される仕組みになっています。
bodyタグ内を全て消してみましょう。

```
9    <link rel="stylesheet" href="css/style.css"
10   <script>
11   </script>
12 </head>
13 <body>
14 |
15 </body>
16 </html>
17
```

Back Space キー
で消す

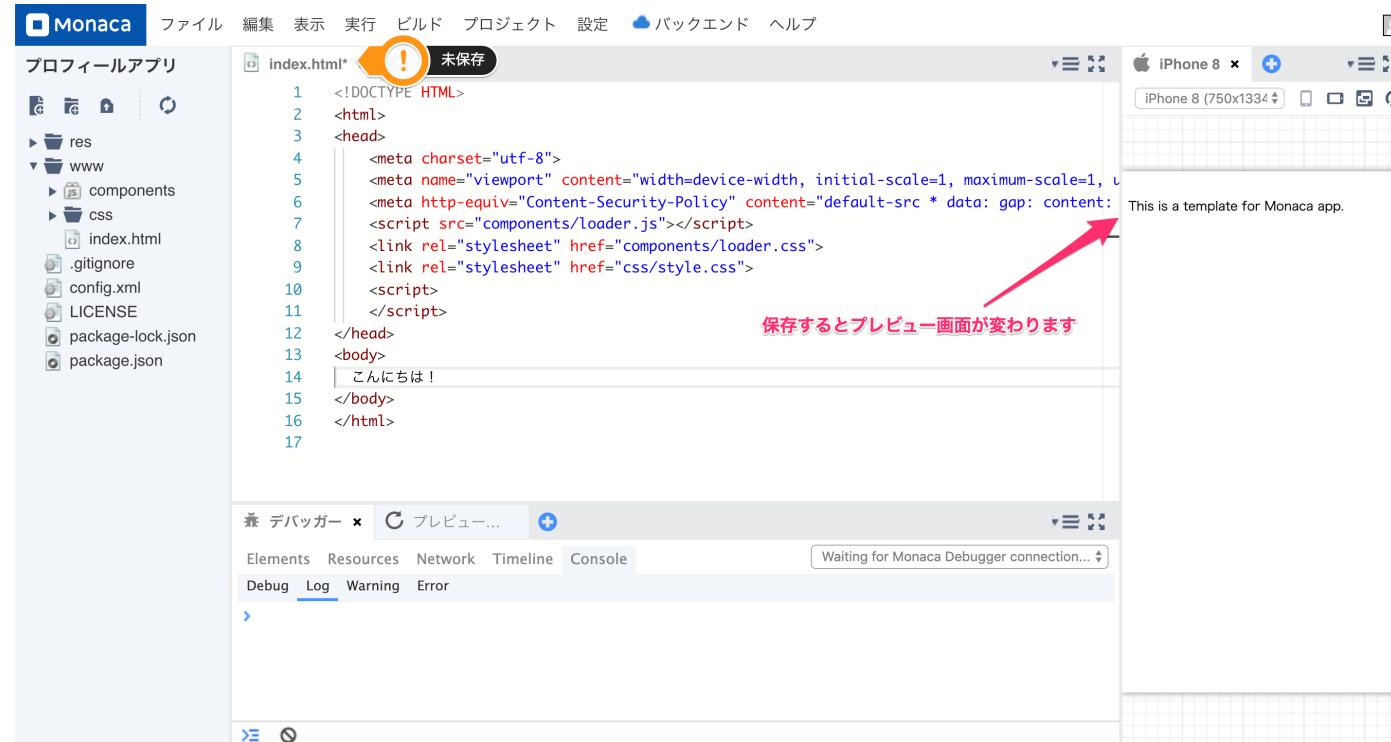


消したところに「こんにちは！」と書いてみましょう。

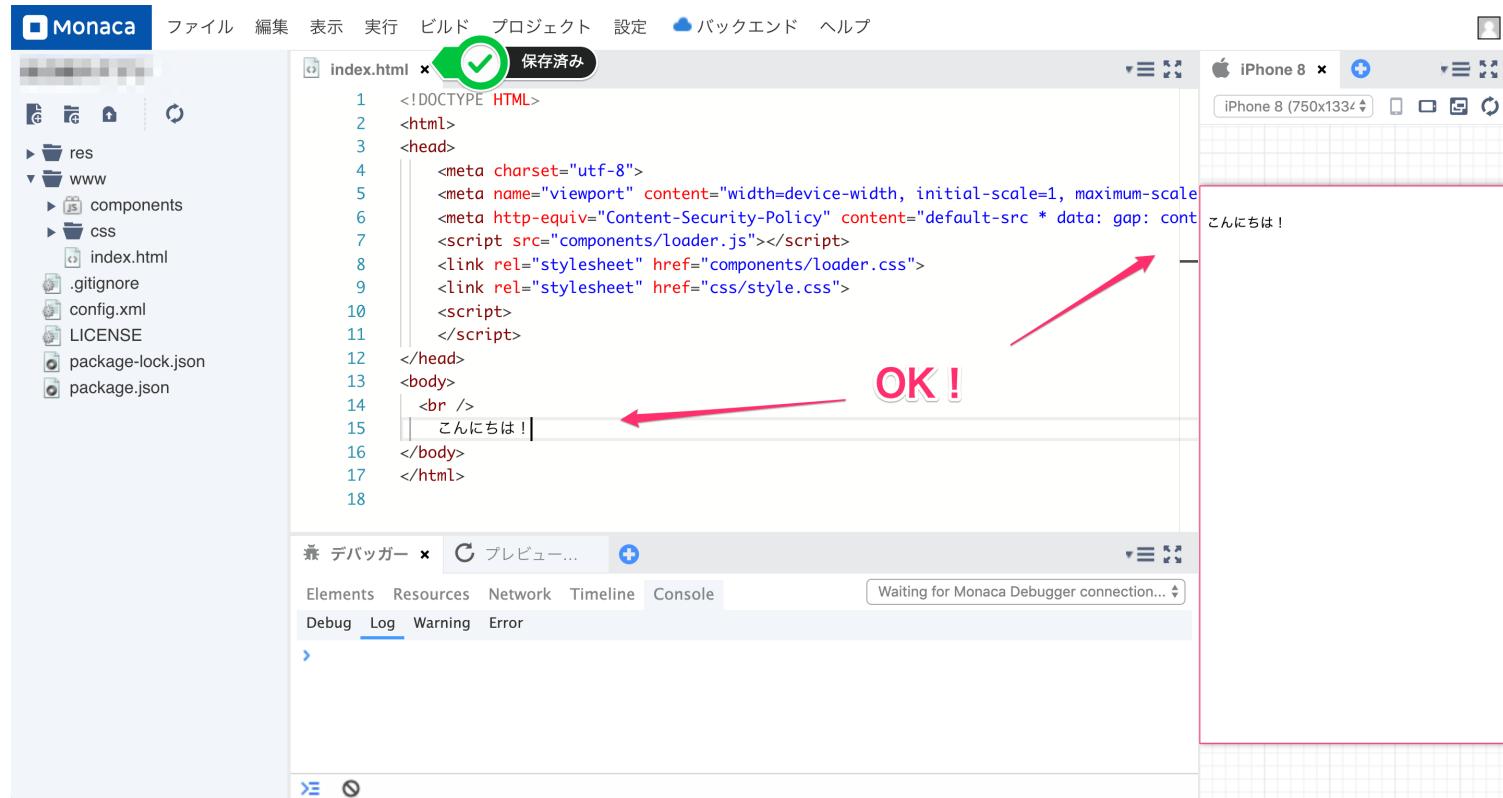
```
9    ||  <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10   ||  <script>
11   ||  </script>
12  </head>
13 <body>
14  こんにちは！|  入力する
15 </body>
16 </html>
17
```

あれ？編集したけどプレビュー画面が変わらないね😭

プレビュー画面に反映させるには編集したファイル index.html の**保存**が必要です。
保存するには「**Ctrl**」 + 「**S**」キーを同時に押してみましょう。



index.html が保存されて、プレビュー画面も更新されましたね 😊



練習はおしまいです！いよいよアプリを作っていきますよ 😁

4. プロフィールアプリを作る① (パートの書き方)

下書きを元に、`<body>`と`</body>`の間を編集してプロフィールアプリを作つてみましょう！完成イメージはこんな感じです。

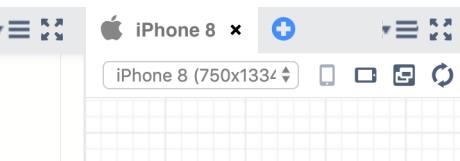


作業に入る前にいくつかパートを紹介します👉

- ・見出し（タイトル・サブタイトル・小見出し）
 - 見出しにしたい部分を h1タグ（`<h1>`, `</h1>`）で囲む
 - h1タグで指定した見出しの中の小見出しには h2タグを使う
 - h1, h2, h3, …と見出しの大きさは 1 が一番大きく、数字が大きくなると小さくなります

```
<h1>見出し1</h1>
<h2>見出し2</h2>
<h3>見出し3</h3>
```

```
index.html x +  
1  <!DOCTYPE HTML>  
2  <html>  
3  <head>  
4      <meta charset="utf-8">  
5      <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1">  
6      <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: chrome-extension:">  
7      <script src="components/loader.js"></script>  
8      <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">  
9      <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
```



見出し1

見出し2

- ・段落（自己紹介文）
 - 段落にしたい部分を pタグ（`<p>`, `</p>`）で囲む

```
<p>段落1</p>
<p>段落2</p>
<p>段落3</p>
```

The screenshot shows a code editor on the left displaying the contents of index.html, and an iPhone 8 simulator window on the right showing the rendered HTML output.

index.html Content:

```
1  <!DOCTYPE HTML>
2  <html>
3  <head>
4      <meta charset="utf-8">
5      <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=no">
6      <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: blob: " />
7      <script src="components/loader.js"></script>
8      <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9      <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10     <script>
11     </script>
12 </head>
13 <body>
14     <p>段落 1 </p>
15     <p>段落 2 </p>
16     <p>段落 3 </p>
17 </body>
18 </html>
```

iPhone 8 Simulator Output:

iPhone 8 (750x1334) - iPhone 8

iPhone 8 (750x1334)

段落 1
段落 2
段落 3

見出しと段落を組み合わせてプロフィールアプリの下書きの内容を画面の中に作ってみましょう！



見出しと段落を組み合わせてプロフィールアプリの下書きの内容を画面の中に作ってみましょう！

```
<h1>私のホームページアプリ</h1>
<p>私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。</p>
<h2>私の好きなもの</h2>
<h3>食べ物</h3>
<p>ハンバーグ・餃子</p>
<h3>趣味</h3>
<p>バスケ、算数</p>
```

```
7   <script src="components/Loader.js"></script>
8   <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9   <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10  <script>
11  </script>
12  </head>
13  <body>
14  |  <h1>私のホームページアプリ</h1>
15  |  <p>私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。</p>
16  |  <h2>私の好きなもの</h2>
```



私のホームページアプリ

私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。

私の好きなもの

文字の入力が終わったら、画像を入れてみましょう！（ちょっと難しくなるよ👉👉）

- 画像を用意しましょう
 - ブラウザの別のタブを開いて、好きな画像をパソコンに保存しましょう
 - ファイル名「image.png」
 - 保存場所「デスクトップ」
- 用意した画像をアプリで表示するために、Monacaに画像をインポートしましょう
 - 画像を取り込むことを「インポート」すると言います👉



編集している index.html と同じ場所に画像をインポートしましょう。

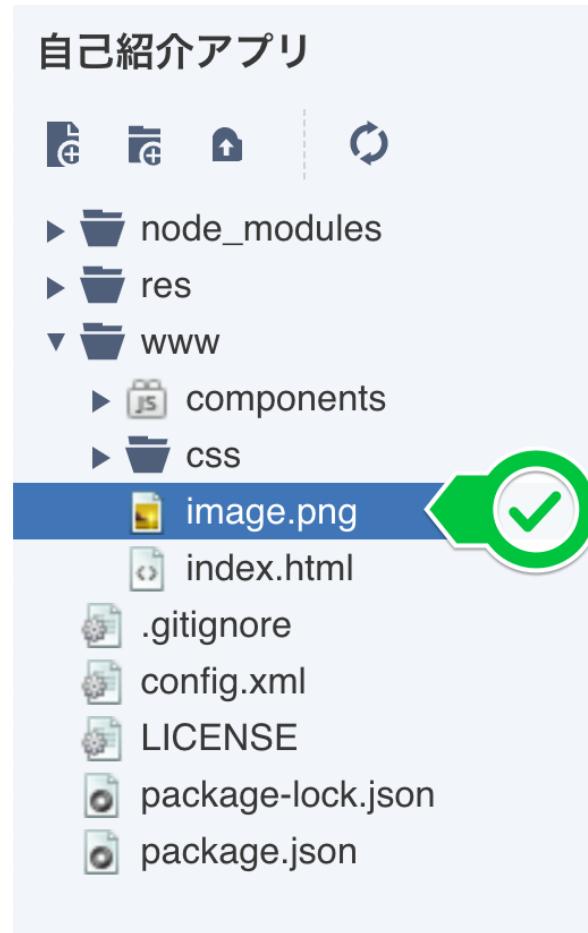
- 画面左のディレクトリの index.html で右クリックをします。開いた項目の「ファイルをアップロード」をクリックします。



- デスクトップに用意した画像をファイルアップロード画面に ドラッグ&ドロップ してファイルをアップロードします
 - マウスでクリックした状態のままファイルを移動して、指定の場所でクリックを解除（指を離す）することをドラッグ&ドロップと言います。



- 改めてインポート出来たことを確認できました



インポートした画像を表示するには imgタグ を使います。

- **src** : 画像のパスを指定します
- **width** : 画像の横の長さを指定します
- **height** : 画像の縦の長さを指定します

```

```



The screenshot shows the Xcode interface. On the left, the code editor displays the `index.html` file with the following content:

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=no">
6     <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: blob: &gt;">
7     <script src="components/loader.js"></script>
8     <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9     <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10    <script>
11    </script>
12  </head>
13  <body>
14    
15  </body>
16</html>
```

On the right, the iPhone 8 simulator window shows a small yellow bird-like character with blue wings and a blue collar, standing on a white surface. The simulator interface includes icons for orientation, volume, and other controls.

プロフィールアプリに画像を表示してみましょう。タイトル（h1タグ）の下に追加してみましょう。

The screenshot shows a code editor on the left and a browser preview on the right. The code editor displays the following HTML:

```
4 <meta charset="utf-8">
5 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=no">
6 <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: blob: https://*.monaca.io/*>
7 <script src="components/loader.js"></script>
8 <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9 <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10 <script>
11 </script>
12 </head>
13 <body>
14 <h1>私のホームページアプリ</h1>
15 
16 <p>私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。</p>
17 <h2>私の好きなもの</h2>
18 <h3>食べ物</h3>
19 <p>ハンバーグ、餃子</p>
20 <h3>趣味</h3>
21 <p>バスケ、算数</p>
22 </body>
23 </html>
24
```

The browser preview shows the title "私のホームページアプリ" followed by an image of a yellow bird-like character with blue wings and a blue "b" on its chest. Below the image is a paragraph about the user's name and school. Under "私の好きなもの", there are sections for "食べ物" (Food) listing "ハンバーグ、餃子" (Hamburgers, dumplings) and "趣味" (Hobbies) listing "バスケ、算数" (Basketball, arithmetic).

5. プロフィールアプリを作る②

(アレンジの仕方)

5. プロフィールアプリを作る② (アレンジの仕方)

ここまでで下書き通りには表示できるようになりました！ですが、このままだとちょっと殺風景ですね…せっかくなのでもう少しアレンジしてみましょう！

私のホームページアプリ



私の名前は〇〇 〇〇です。小学校〇年生です。今
学校では〇〇を勉強しています。

私の好きなもの

食べ物

ハンバーグ、餃子

趣味

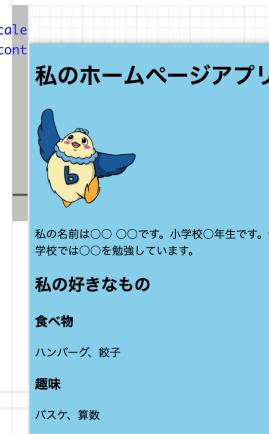
バスケ、算数

5. プロフィールアプリを作る② (アレンジの仕方)

- 背景の色変更
 - bodyタグに `bgcolor="色"` を追加
 - 下の例は背景が水色になる

```
<body bgcolor="skyblue">
```

```
1 <meta charset="utf-8">
2 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=no">
3 <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: cdn: https://script.googleusercontent.com/* script: https://storage.googleapis.com/* style: https://fonts.googleapis.com/* font: https://fonts.gstatic.com/* media: https://www.gstatic.com/* img: https://*.gstatic.com/* blob: https://*.gstatic.com/* frame: https://*.gstatic.com/* object: https://*.gstatic.com/* script-src: https://*.gstatic.com/* style-src: https://*.gstatic.com/* font-src: https://*.gstatic.com/* media-src: https://*.gstatic.com/* img-src: https://*.gstatic.com/* blob-src: https://*.gstatic.com/* frame-src: https://*.gstatic.com/* object-src: https://*.gstatic.com/*>
4 <script src="components/loader.js"></script>
5 <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
6 <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
7 <script>
8 </script>
9 </head>
10 </head>
11 <body>bgcolor="skyblue">#↑
12 <h1>私のホームページアプリ</h1>
13 
14 <p>私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。</p>
15 <h2>私の好きなもの</h2>
16 <h3>食べ物</h3>
17 <p>ハンバーグ、餃子</p>
18 <h3>趣味</h3>
19 <p>バスケ、算数</p>
20 </body>
21 </html>
```



色は、blue, pink, redなど、英語表記で指定するかまたは色コードで指定することができますよ👉

5. プロフィールアプリを作る② (アレンジの仕方)

- 文字の色変更
 - 色を変えたい文字を fontタグ (``, ``) で囲む
 - 下の例は赤文字の「こんにちは」を表示します

```
<font color="red">こんにちは</font>
```



```
4  <meta charset="UTF-8">
5  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=no">
6  <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: embed: img: https://*.slack-edge.com/*">
7  <script src="components/loader.js"></script>
8  <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9  <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10 <script>
11 </script>
12 </head>
13 <body>
14 | <font color="red">こんにちは </font>
15 </body>
16 </html>
17
```

色の指定は背景と同じく英語表記か色コードで指定できるよ👉

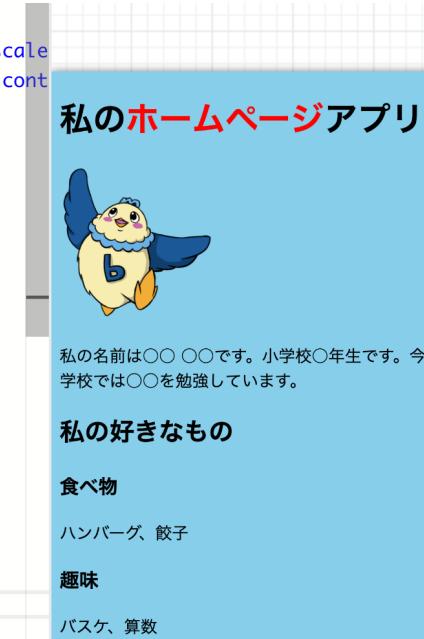
5. プロフィールアプリを作る② (アレンジの仕方)

例えば、タイトルの一部だけを変えることもできるよ👍

```
<h1>私の<font color="red">ホームページ</font>アプリ</h1>
```

```
4   <meta charset="utf-8">
5   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=1">
6   <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: content:>">
7   <script src="components/loader.js"></script>
8   <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9   <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10  <script>
11  </script>
12 </head>
13 <body bgcolor="skyblue">
14 <h1>私の<font color="red">ホームページ</font>アプリ</h1>
15 
16 <p>私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。</p>
17 <h2>私の好きなもの</h2>
18 <h3>食べ物</h3>
19 <p>ハンバーグ、餃子</p>
20 <h3>趣味</h3>
21 <p>バスケ、算数</p>
22 </body>
23 </html>
24
```

「ホームページ」だけ赤文字に



5. プロフィールアプリを作る② (アレンジの仕方)

- 位置変更
 - 位置を変更したいタグに `align="***"` 追加します
 - 下の例は段落 (pタグ) の位置変更

```
<p align="left">左揃え</p>
<p align="right">右揃え</p>
<p align="center">中央揃え</p>
```

```
4   <meta charset="utf-8">
5   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=no">
6   <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: content: none">
7   <script src="components/loader.js"></script>
8   <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9   <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10  <script>
11  </script>
12  </head>
13  <body>
14  |  <p align="left">左揃え</p>
15  |  <p align="right">右揃え</p>
16  |  <p align="center">中央揃え</p>
17  </body>
18  </html>
19
```



左揃え



右揃え



中央揃え

5. プロフィールアプリを作る② (アレンジの仕方)

画像の位置変更をしたい場合は、画像を divタグ (`<div align="***">`, `</div>`) で囲みましょう。

```
<div align="center">画像</div>
```

```
5   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, maximum-scale=1, user-scalable=1" />
6   <meta http-equiv="Content-Security-Policy" content="default-src * data: gap: blob: https://*.gstatic.com" />
7   <script src="components/loader.js"></script>
8   <link rel="stylesheet" href="components/loader.css">
9   <link rel="stylesheet" href="css/style.css">
10  <script>
11  </script>
12 </head>
13 <body bgcolor="skyblue">
14   <h1>私の<font color="red">ホームページ</font>アプリ</h1>
15   <p align="center"></p>
16   <p>私の名前は○○ ○○です。小学校○年生です。今学校では○○を勉強しています。</p>
17   <h2>私の好きなもの</h2>
18   <h3>食べ物</h3>
19   <p>ハンバーグ、餃子</p>
20   <h3>趣味</h3>
21   <p>バスケ、算数</p>
22 </body>
23 </html>
```

画像を真ん中に表示



6. TRY：コメント入力機能をつけよう

6. TRY：コメント入力機能をつけよう

最後に特別な機能を追加しましょう😊

と言っても、ちょっと難しいので **コピペ** を使ってサクッと機能を追加しちゃいましょう。 (コピペとはできたものをコピーしてペーストする (貼り付ける) ことです😊)

1. 機能追加に欠かせない道具 ニフクラ mobile backend とは
2. ニフクラ mobile backend の準備
3. コピペで機能追加

6.1. 機能追加に欠かせない道具

ニフクラ mobile backend とは

スマートフォンアプリのクラウドデータベースサービスです。と言っても難しくてよくわからないと思います 😱

これから作る「コメント入力機能」で入力されたメッセージは、スマートフォン上ではなく「クラウド」に保存することができます。クラウドに保存すると、

- 将来的には入力したメッセージをみんなで共有することができます
- スマートフォンやアプリが壊れてもデータが無くなることはありません



6.2. ニフクラ mobile backend の準備

アカウントを作成しましょう。

- ニフクラ mobile backend 利用登録（無料）
 - <https://mbaas.nifcloud.com/signup.htm>

6.2. ニフクラ mobile backend の準備

ログインからアプリ新規作成まで

6.2. ニフクラ mobile backend の準備

SDK導入

6.2. ニフクラ mobile backend の準備

SDK初期化

```
// ニフクラ mobile backend を使うための準備  
var applicationKey = "YOUR_APPLICATION_KEY";  
var clientKey = "YOUR_CLIENT_KEY";  
var ncmb = new NCMB(applicationKey, clientKey);
```

6.3. コピペで機能追加

自己紹介を書いた `<body></body>` タグの一番下に、次の内容をコピペします。

```
<!-- コメント入力機能 -->
<form name="messageForm">
  <input type="text" name="message" size="30" maxlength="20">
  <input type="button" value="送信" onclick="sendMessage();">
</form>
<!-- ログ表示 -->
<div id="log"></div>
```

これで画面にコメント入力欄が追加されますが、まだボタンを押した後の処理をコーディングしていないので、ボタンを押しても何も動きません。

6.3. コピペで機能追加

コメント入力をして、送信ボタンを押すとメッセージが保存されていくように処理を書きます。

- scriptタグ (`<script>`, `</script>`) 内に次の内容をコピペします

```
// メッセージが送信された時の処理
function sendMessage() {
    // 入力値
    var text = document.forms.messageForm.message.value;
    // 入力チェック
    if(text.length === 0) {
        // 画面に表示
        document.getElementById("log").innerText = "文字が入力されていません";
        // 処理中止
        return false;
    }
    // 保存先クラスを指定
```

6.3. コピペで機能追加

動作確認

アプリを使って自己紹介しよう！

アプリを使って自己紹介しよう！

自己紹介手順

まとめ

まとめ

まとめと参考書の紹介